



子供を非行化させるコツ教えます！～緊張感をもって2学期がスタート～

校長 青木 久永

戦後78年目の夏。大歓声に包まれた全国高校野球選手権大会では慶応義塾高校が優勝。日も短くなり、夜の虫に秋の訪れを予感しつつも、暑さが和らぐ気配はありません。「地球沸騰化」が現実になっています。

8月26日の地域・親子除草では、保護者・学校応援団の皆様には、早朝から除草や樹木剪定等の御支援をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、子供たちを安心・安全で快適に迎える環境が整いました。種足地区の皆様と一緒に汗水流して活動し、作業後に飲んだ冷たい麦茶がまた格別でした。

8月29日から2学期が始まりました。夏休みを家庭で過ごし、たくましくなった子供たちが戻って来ました。

「校長先生、夏休みに自学自習ノートをごんばりました。昼休みにスタンプをもらいに行ってもいいですか。」自分で立てた目標を達成し、表情が自信に満ちています。子供との何気ない会話も、お互いを知る良い機会です。一人一人のノートに「継続は力なり」と赤ペンで書いて、努力を称賛し、笑顔で励まします。

実は、9月は不登校、いじめ、子供の自殺が多く、校長として1年のうちで緊張を強いられる月の一つです。

文科省が発表した「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」によると、小中学生の不登校は24万4940人。前年度より大幅に増加し、初めて20万人を越えました。内訳は、小学生8万1498人（前年度比1万8148人増）、中学生16万3442人（同3万665人増）、ともに過去最多でした。

同調査で報告された令和3年度はいじめの認知件数は61万5351件。前年度比9万8188件（19%）の増加。いじめが最も多かった学年は、小学2年生（10万976件）、次いで小学1年生（9万6142件）、さらに小学3年生（9万4781件）と続くなど、小学校の低学年で顕著でした。

また、厚労省の調査では、令和4年の児童生徒の自殺者数は514人。このうち、小学生17人、中学生143人、高校生354人で、1980年に統計を開始してから初めて500人を超え、過去最多となりました。

不登校、いじめ、子供の自殺は、決して対岸の火事ではありません。夏季休業明けは、不登校に陥る心配のある児童もいます。そのため、8月の職員会議では、全職員で情報を共有、分担を決め、保護者、専門家や関係機関と連携し、「意識・組織・かかわる」をキーワードに、組織的な児童支援体制を確認しました。

この夏、宮口幸治著『ケーキの切れない非行少年たち』（新潮新書、2019年）を読み返しました。この本は、2020年の新書大賞で第2位で続編も出ています。著者は児童精神科医です。多くの非行少年と出会う中で、「反省以前の子供」が多いという事実気付きます。少年院には認知力が弱く、「ケーキを等分に切る」ことすらできない非行少年が大勢いました。しかし、問題の根深さは普通の学校でも同じだと言います。発達や学習の遅れ、発達障害、自傷行為、粗暴行為、いじめ、不登校、非行、親の不適切養育など、複雑な様相を呈しています。宮口氏は相談事例として、次のような子供の振る舞いや特徴を挙げています。

- 感情のコントロールが苦手ですぐにカッとなる。
- 人とのコミュニケーションがうまくいかない。
- 集団行動ができない。
- 忘れ物が多い。
- 集中できない。
- 勉強のやる気がない。
- やりたくないことをしない。
- 嘘をつく。
- 人のせいにする。
- じっと座ってられない。
- 身体の使い方が不器用。
- 自信がない。
- 先生の注意を聞けない。
- 嫌なことから逃げる。
- その場に応じた対応ができない。
- 漢字がなかなか覚えられない。
- 計算が苦手。

これらは、普通の学校で困っている子供たちだけの特徴ではありません。少年院にいる非行少年が小学生の時の特徴と「ほぼ同じ」「共通点がある」と著者は述べています。サインの「出し始め」は、小学2年生くらいからが多く、これらの背景には、知的障害や発達障害など、その子に固有の問題や、家庭内での不適切養育、児童虐待など、家庭での生育環境の問題が潜んでいると指摘しています。

特に問題なのは、特別な支援が必要とされていながらも、「保護者にも気付かれない」「社会でも気付かれない」まま放置され、「(学力が)クラスの下から5人の子供たち」です。これらの子供たちは、本人も困っているにもかかわらず、「病名がつかない」ため、非行化が懸念されていても、「気付かれないまま警察に逮捕される」という現実です。私の中学校教員時代を振り返ってみても、同様の生徒が何人もいました。

これに関連して、ある司法関係者が記した「子供を非行化させるコツ教えます！～こうすれば子供は非行に走る10か条～」は、ドキッとしますが、正鵠を得ています。（平成15年8月12日 読売新聞夕刊）

- ①幼い時から冷たく放りっぱなしにせよ。
- ②欲しいと言ったら何でもすぐ買い与えよ。
- ③間違いや失敗は理由を問わず叱り飛ばせ。
- ④どこで何をしようが気にとめるな。
- ⑤よその子や兄弟と比較して、お前はバカだ、誰々を見習え、を連発せよ。
- ⑥忙しいのに食卓の団らんなど無駄。
- ⑦善いことや努力してもめったに褒めるな。
- ⑧子供の前では決して夫婦間の意見を一致させるな。
- ⑨お金こそ人生の全てと身をもって教え込め。
- ⑩子供の前で常に法律・警察・学校・役所の悪口を言い、社会のきまりや公共機関への敵意を植え付けよ。

さて、該当する項目がいくつあった(なかった)でしょうか。古来より「子は親の鏡」と言われます。日頃から、これら10か条と真逆のことをしていれば、子供は必ず健全に育ちます。この機会に、愛する我が子や孫との関係を見直してみませんか。長丁場の2学期も、皆様どうぞよろしくお願いたします。

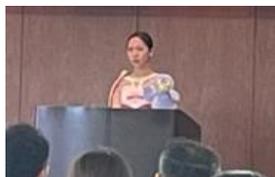
5年生が臨海学校に行ってきました

7月21日(金)、22日(土)には、5年生が福島県のいわき海浜自然の家で宿泊学習を行いました。天候にも恵まれ、ボディボードやいかだ体験など、海での活動を思う存分楽しみました。



少年の主張埼玉県大会に出場しました

8月20日(日)に、さいたま共済会館で開催された「令和5年度少年の主張大会埼玉県大会」に、6年生の山内 一帆さんが小学生の部の代表として出場しました。小学生の部の応募総数は17,141名。その中から選ばれた代表5名のうちの一人として、自分の考えを堂々と発表しました。



親子除草お世話になりました

8月26日(土)の親子除草では、保護者及び学校応援団の皆様にお世話になりました。除草及び樹木剪定作業に御協力いただき、大変きれいになりました。お陰様で素晴らしい環境で、2学期をスタートできます。ありがとうございました。

個人面談お世話になりました

夏休み中に実施した個人面談では、御多用中にも関わらず来校いただきありがとうございました。子供たちのよさや課題、保護者の願い等を確認することができ、大変有意義な時間となりました。2学期の指導に生かしてまいります。

引き続き暑さ対策を！

今年は、気温が35℃を超える猛暑日が非常に多く、9月も厳しい暑さが続く予想されています。

学校では、エアコンを使用しながら児童の体調管理を行っていますが、御家庭においても、早寝・早起き・朝ごはんといった健康的な生活習慣づくりに御協力ください。

9月の主な行事予定

日	曜	行 事 等
8/29	火	第2学期始業式、3時間、一斉下校
8/30	水	3時間、一斉下校
8/31	木	3時間、一斉下校
1	金	給食開始、身体測定、6年 修学旅行説明会(第5校時)
2	土	
3	日	
4	月	委員会活動
5	火	給食費等口座引落日(1回目)
6	水	
7	木	たねっと班遊び
8	金	読み聞かせ(5年)
9	土	
10	日	
11	月	4年「劇団野ばらワークショップ」3校時 クラブ
12	火	
13	水	
14	木	校内授業研究会(6年) スクールカウンセラー来校 9:00
15	金	読み聞かせ(4年) 給食費等口座引落日(2回目)
16	土	
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	
20	水	修学旅行①(鎌倉、箱根方面)
21	木	修学旅行①(鎌倉、箱根方面)
22	金	読み聞かせ(3年) 双葉町立双葉南・北小来校 13:30
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	職員会議
26	火	3年 風の里自然観察会
27	水	
28	木	校内授業研究会(2年)
29	金	読み聞かせ(2年)
30	土	

【主な10月の行事について】

- 2日(月) 就学時健康診断 全学年B日課4時間授業
- 3日(火)~4日(水) 校内郷土美術展作品公開
- 7日(土) 第2回PTA資源回収、8日予備日
- 12日(木) 4年サイエンススクール
- 13日(金) 1・2年遠足
- 17日(火) 加須市小学校陸上競技会、24日予備日
- 25日(水) 5年社会科見学
- 30日(月) 加須市内小中学校音楽会

※現時点での予定です。変更の際は、その都度連絡いたします。

双葉南・北小との交流

9/22(金)には、以前から交流のある福島県双葉町立双葉南・北小が修学旅行で都内を訪れることに合わせ、本校に来校します。全校での歓迎の交流会を計画しています。